



使えるAIを皆様のもとへ

株式会社Pros Cons

会社説明資料

1.	会社概要	3
2.	主要経営陣の略歴	4
3.	ビジネスモデル	5
4.	事業ビジョン	6
5.	当社の特徴	7 - 9
6.	当社独自技術	10 - 11
7.	ターゲット市場	12 - 13
8.	顧客・ユーザー特性	14 - 15
9.	競合との比較	16
10.	製品・サービス	17 - 20

企業情報

商号	株式会社Pros Cons
所在地	東京都渋谷区道玄坂2丁目15番1号 ノア道玄坂 915
設立	2019年1月
資本金	650万円
代表者	代表取締役 安部 正一郎
メンバー数	7名(2020年1月 ※社外メンバー含む)

事業概要

AIソリューション



AIモデル構築からシステム開発、運用保守までを一気通貫で行う事業。

AIトレーニング



AIとは何か、何がすごいのかから、よくある疑問、プロジェクトの進め方等まで基礎知識を習得できる事業。

AIコンサルティング



直面する実際の課題に対し、AIの適用検討やプロジェクトの共同推進をする事業。



代表取締役 / CEO Shoichiro Abe

神戸大学経営学部卒業。

大学卒業後、国内大手メーカーにて事業企画、法人営業に従事。事業投資、子会社の経営管理、営業戦略立案等幅広く経験。

東工大発AIベンチャーに参画し、営業、マーケティング、採用、労務、財務と幅広く携わる。数十件のAI導入プロジェクトを担当する中で、社会実装の難しさに直面しながら、数々の導入を実現させる。



取締役 / CTO Masanori Sakata

東京大学工学部卒業・同大学院機械工学専攻修士課程修了。

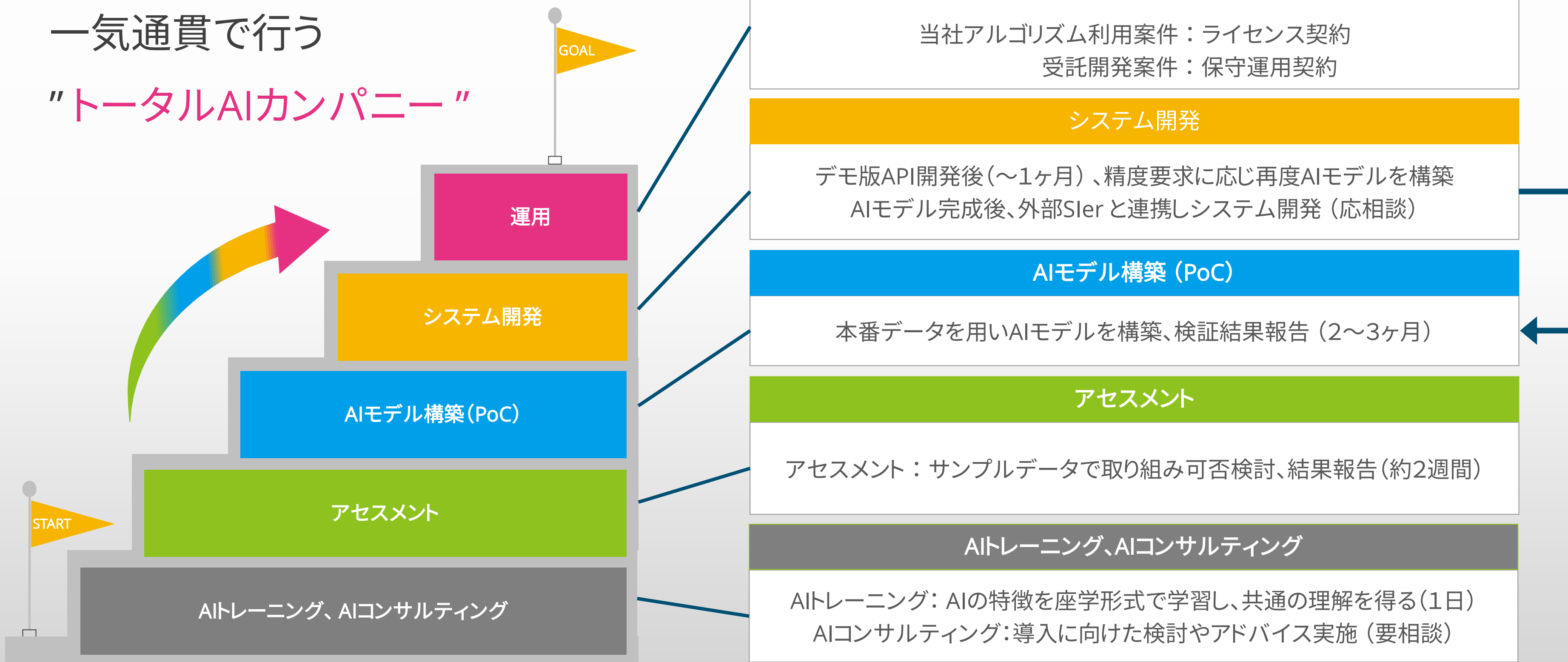
在学中、機械学会賞受賞。文科省による第一期MIT代表派遣生。

大学卒業後、大手自動車関係会社にて、設計開発業務に携わる。最年少社長賞受賞。

その後、産業界の自動化の重要性を感じ、東工大発AIベンチャーに参画。大手メーカーの画像検査や予知保全などのAI化を手掛ける。

AIの導入検討から運用までを
一気通貫で行う

“トータルAIカンパニー”



事業ビジョン： 使えるAIを皆様のもとへ

AIの導入成功率 **33** % "失敗" するプロジェクトが多いのはなぜか

現状

- AIの特性を発注者が理解しておらず、共通認識のないままPJスタート
⇒ 理想と現実のギャップが発生
- ベンダーに丸投げ開発の横行
⇒ 曖昧な要件定義による手戻り発生
- 実用化までの時間、費用の増大
⇒ 上記2件によりPJの長期化
発注者/受注者双方が次第に疲弊

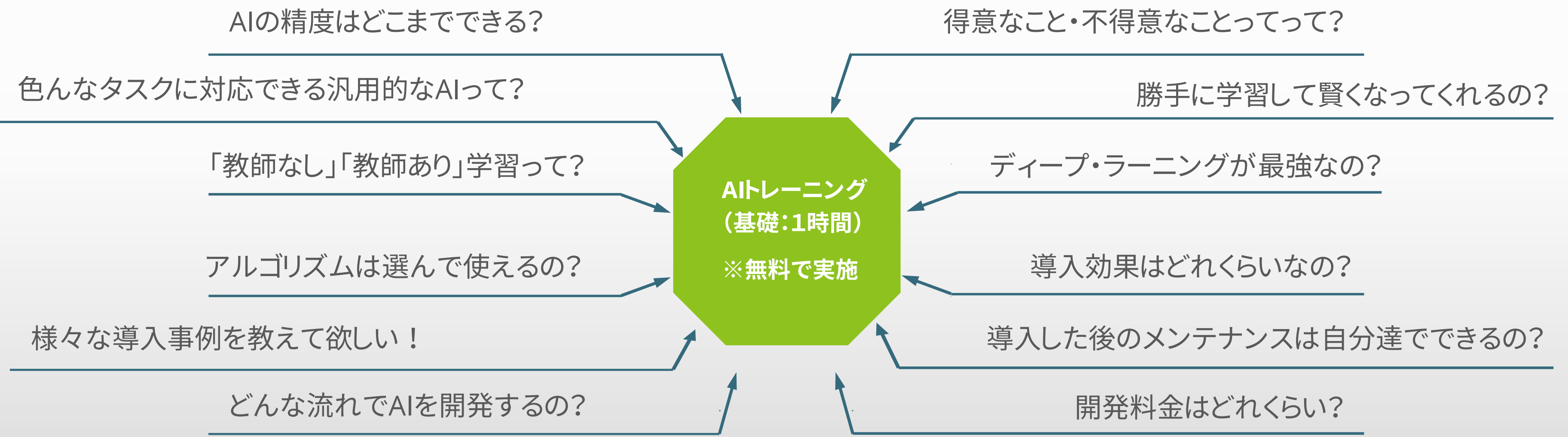
理想

- AIが出来ること、出来ないことの共通認識を持った上で精度指標、KPIを設定
- AIモデル構築(PoC)、ソフトウェア開発を区別し、双方でプロジェクト管理
- 業務実装を念頭に置いた解析の実施、デモ版ソフトウェアの開発

解決策(当社特徴)

- ①AIトレーニング、アセスメント実施により理想と現実のギャップ解消
- ②プロジェクト管理シートによる可視化
定期進捗報告による認識のズレの解消
- ③高速プロトタイプ開発を実現
PoC結果をデモ版APIとして実装し、
デモ利用で実務者との認識のズレ解消

AIに対する疑問の回答や必要な基礎知識を共有
正しく捉えることで、過剰な期待や認識のズレを解消



⇒基礎コースは「よくある疑問への回答」、「できること、出来ないこと」がメイン
事例を交えて体系的に学ぶため、有料のコースも設定

適切なプロジェクト管理を通じ、“よくある”予見可能な失敗を防止

ゴール設定

あくまでAIは目標達成のための手段。
何のためにプロジェクトを行っているのか、最終的なゴールを共有する。

使用データ

学習データの量や質がAIの性能を大きく左右するため、AIモデル構築で利用するデータ、実運用利用するデータの共有する。

精度目標

人間の置き換え可能な精度、サポートに利用可能な精度等、MUST、WANTでどのレベルの精度を目指すかを共有する。プロジェクトの難易度や取り組み期間に大きく影響を与える。

タスク進捗度管理

「解析の試行錯誤をしてみなければ分からない」のがAI。
タスクの進捗と現在の精度レベルを記載する。

AWS + Docker でAPIの高速開発を実現
AIモデル構築からデモ利用まで1ヶ月以内で提供



Amazon ECSで安定的な接続を実現

低コストながら、負荷のバランス、
豊富な計算資源バリエーションを持ち、
高速にPoCのアルゴリズムをAPI化する事が可能となる。



dockerコンテナで簡単デプロイ

モダンなソフトウェア開発で用いられる仮想環境の主流技術
PCのDocker仮想環境でAI構築し、クラウドにそのまま導入可能
なため、検証～導入までの超高速化が実現する。

AIモデル構築



高精度画像認識 アルゴリズム「Gemini」

少量のデータから高精度の認識が可能です。
教師データなしで自律学習も可能です。

《主な用途》

- ・不良品データがほとんどない外観検査
- ・動体の行動認識やカウント ...等

AIモデル構築



高速最適化アルゴリズム 「Virgo」

種々の条件より、高速かつ最も人間の判断
に近い最適化を実行するアルゴリズムです。

《主な用途》

- ・複雑条件下の生産/販売計画の作成
- ・好みや気分を反映したレシピ提案 ...等

AIモデル構築



高確度予測アルゴリズム 「Scorpio」

過去のログ、公開データ等を学習し、高確
度な予測結果を返せるアルゴリズムです。

《主な用途》

- ・生産、エネルギー等の需要予測
- ・販売収益予測 ...等

パッケージソフト



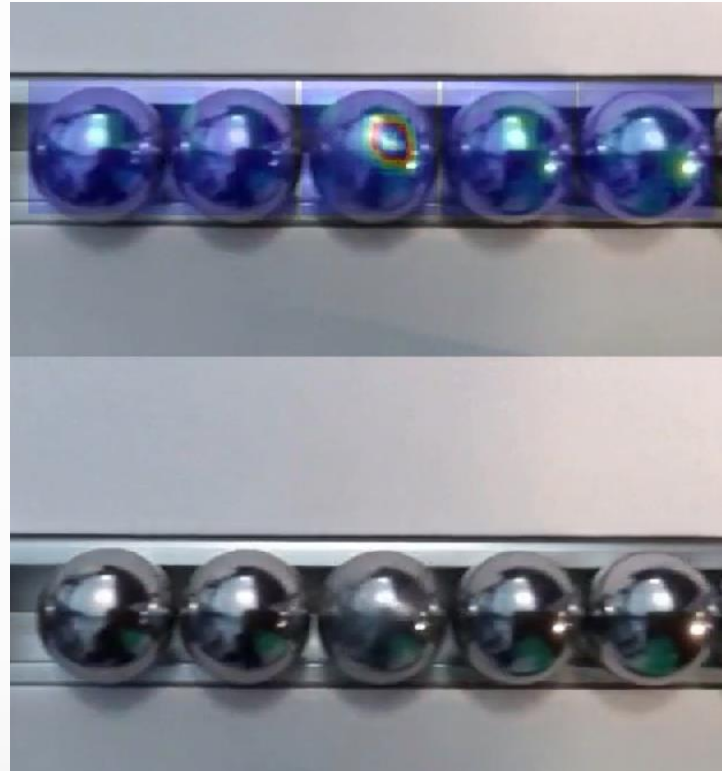
Gemini eye

即日導入できる外観検AI 「 Gemini eye 」

安価で手軽に外観検査AIを利用したい企
業様に向けてパッケージソフトウェアを開
発・販売。

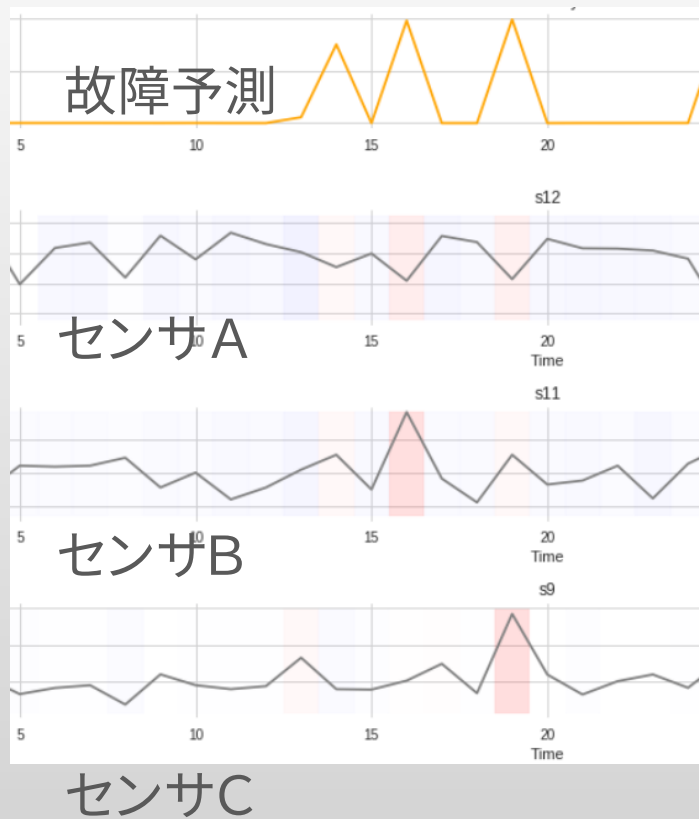
良品画像を用いて少量データからAIモデ
ルを作成できます。

豊富な経験から業界のニーズを理解し、実用化されるAIを開発



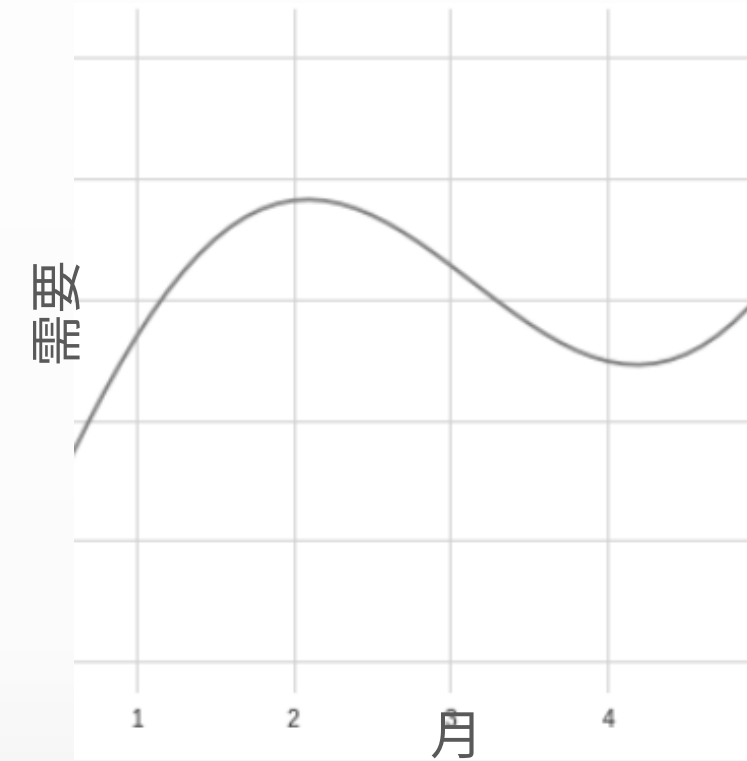
教師なし異常検知(Gemini)

良品の学習のみで、異常検知する
異常データの不足や、異常の種類
が多く異常を定義しにくいという産
業界の強い課題に応える技術



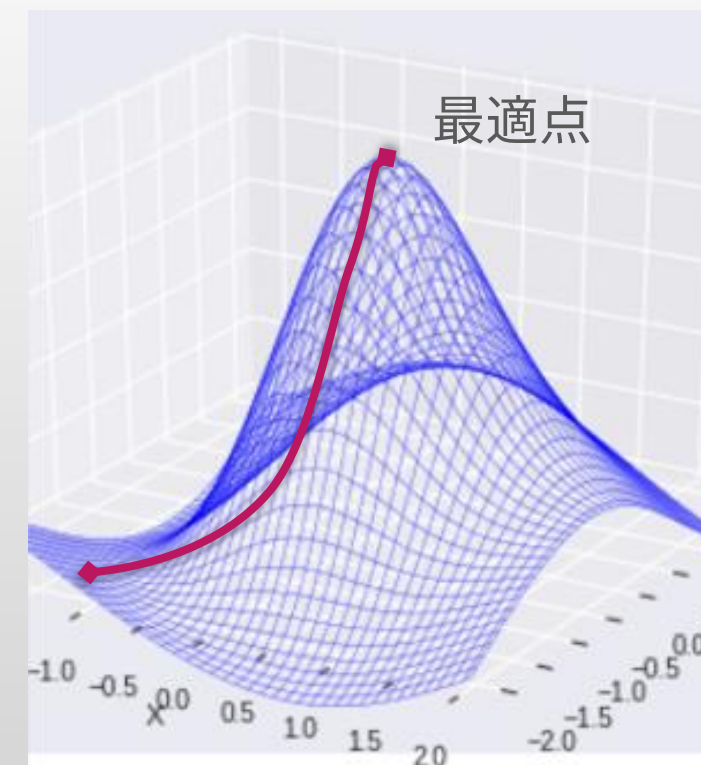
予測根拠・自信の提示

AIの判断根拠となっている入力デー
タの可視化や、判断の自信度合い
を提示
AIの判断に対する人間の意思決定
をアシスト



自己予測最適化(Virgo)

常に適切な予測がなされるように
予測モデルを常時最適化
データが経時的に変化する課題
に対応

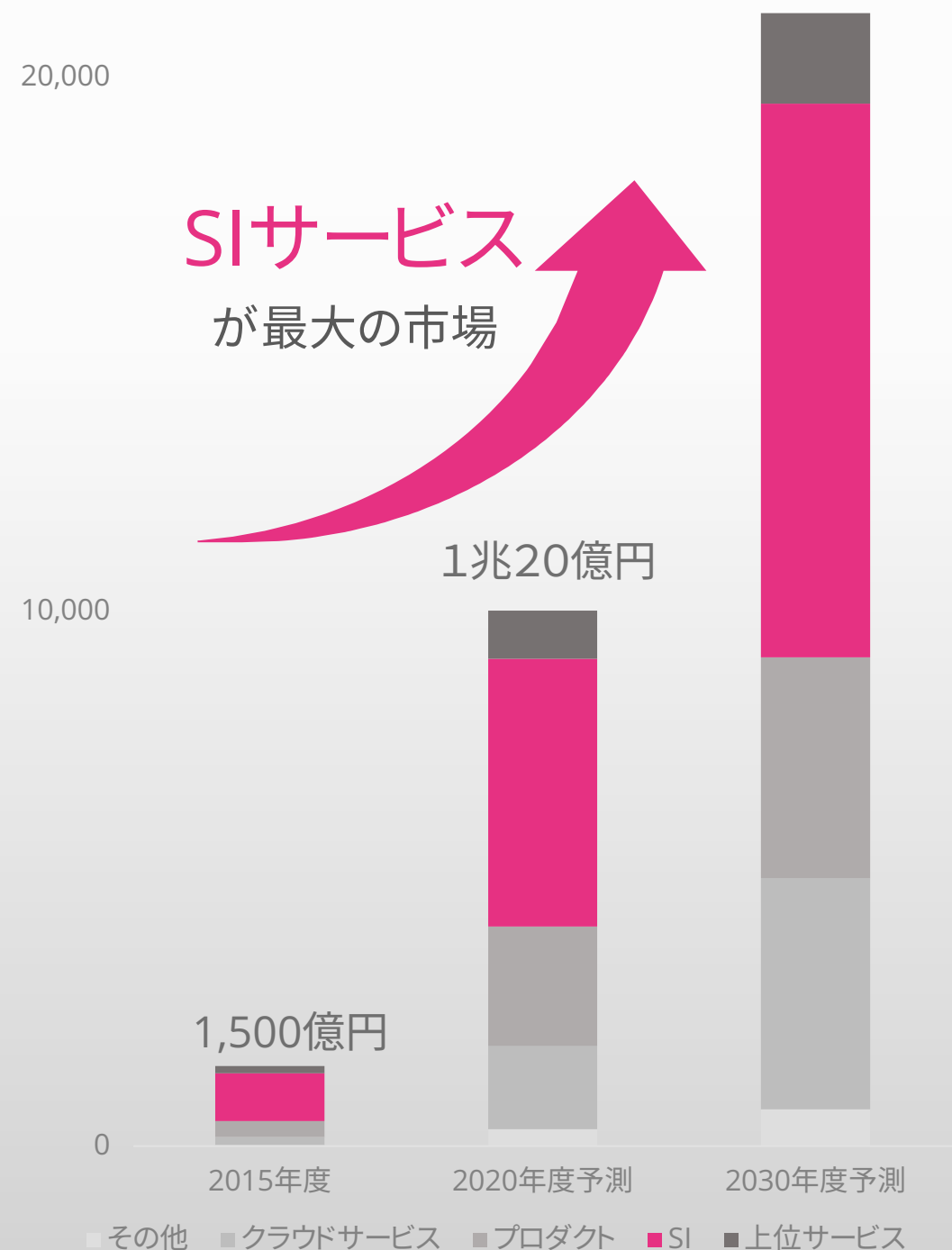


予測+最適化(Scorpio)

作成した予測モデルから、最適なパ
ラメータを探索
売上最大化や、生産管理、製品設計
など多様な用途の支援に対応

最大市場のSIにて「ものづくり」、「流通・小売」、「自動車」、「防災」、「ヘルスケア」に注力

ビジネスカテゴリー別市場 2兆円1,200億円



項目	2015年度	2020年度予測	2030年度予測
合計	1,500億円	1兆20億円	2兆1,200億円
製造業	315億円	1,680億円	3,340億円
流通/サービス	150億円	985億円	2,120億円
金融業	495億円	2,820億円	5,860億円
情報通信業	270億円	1,720億円	3,680億円
医療/ライフサイエンス	100億円	500億円	1,030億円
公共/社会インフラ	155億円	2,015億円	4,520億円
その他業種	15億円	300億円	650億円

最大市場のSIにて「ものづくり」、「流通・小売」、「自動車」、「防災」、「ヘルスケア」に注力

ものづくり 教師なしアルゴリズム
「Gemini」を利用した時系列・画像・IoT・ログデータ等の異常検知ソリューションを提供。

防災 教師なしアルゴリズム「Gemini」
を利用した時系列・画像・IoT・ログデータ等の異常検知や計画最適化ソリューションを提供。

自動車 自動車業界横断でAIソリューションを提供。中古車販売の値付け、ローン審査、点検整備時期予測、レンタル需要予測、カーシェアマッチング、保険レコメンド等



流通小売 予測アルゴリズム
「Scorpio」を利用した需要予測による最適在庫、自動受発注機能を提供。ダイナミックプライシングや店舗データ解析(画像解析、POS解析等)ソリューションも提供。

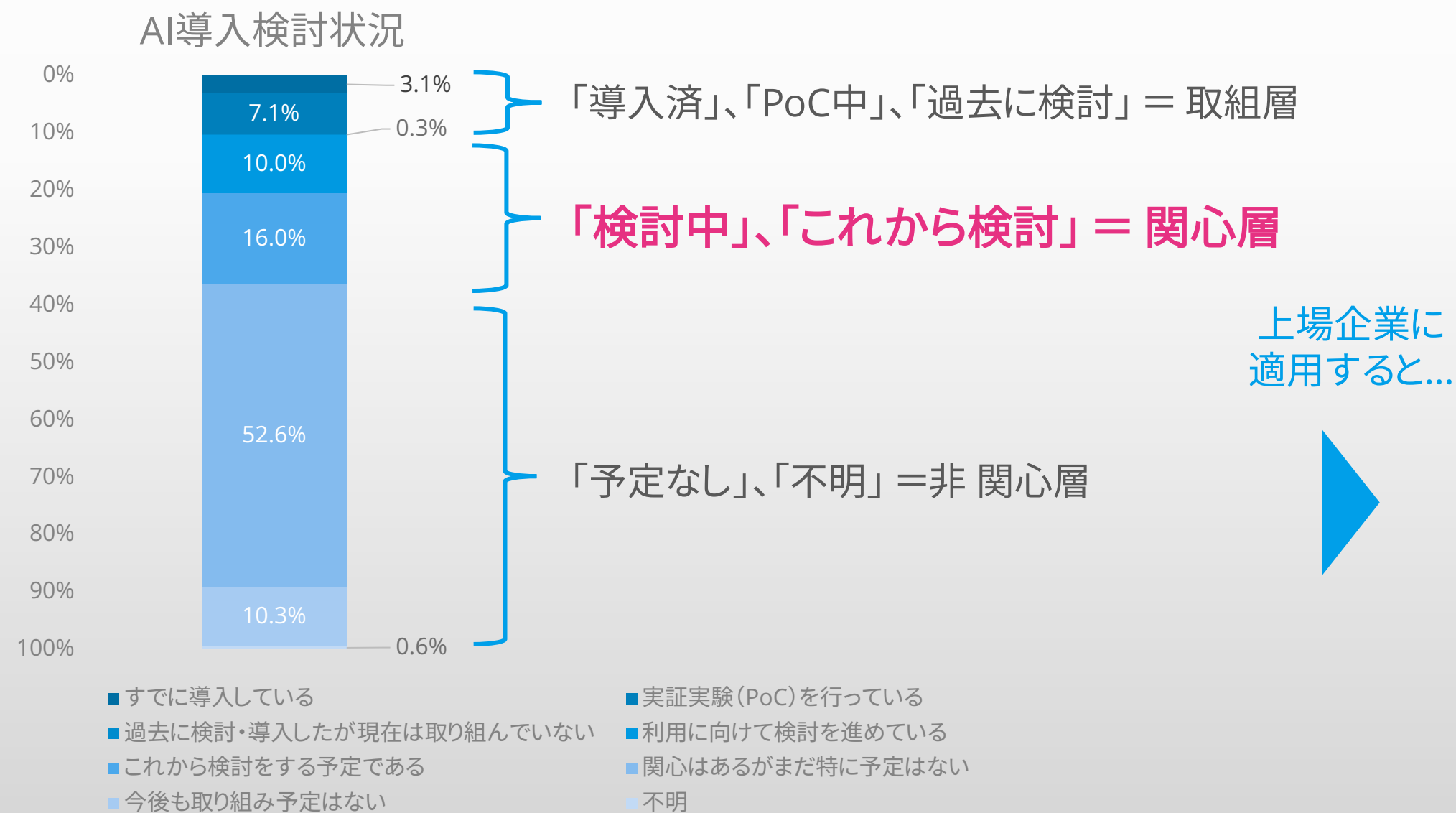
ヘルスケア
行動ログ等より、食事レコメンド、体調管理、睡眠管理等のサービスを提供。

「**関心層**」を重点ターゲットとする

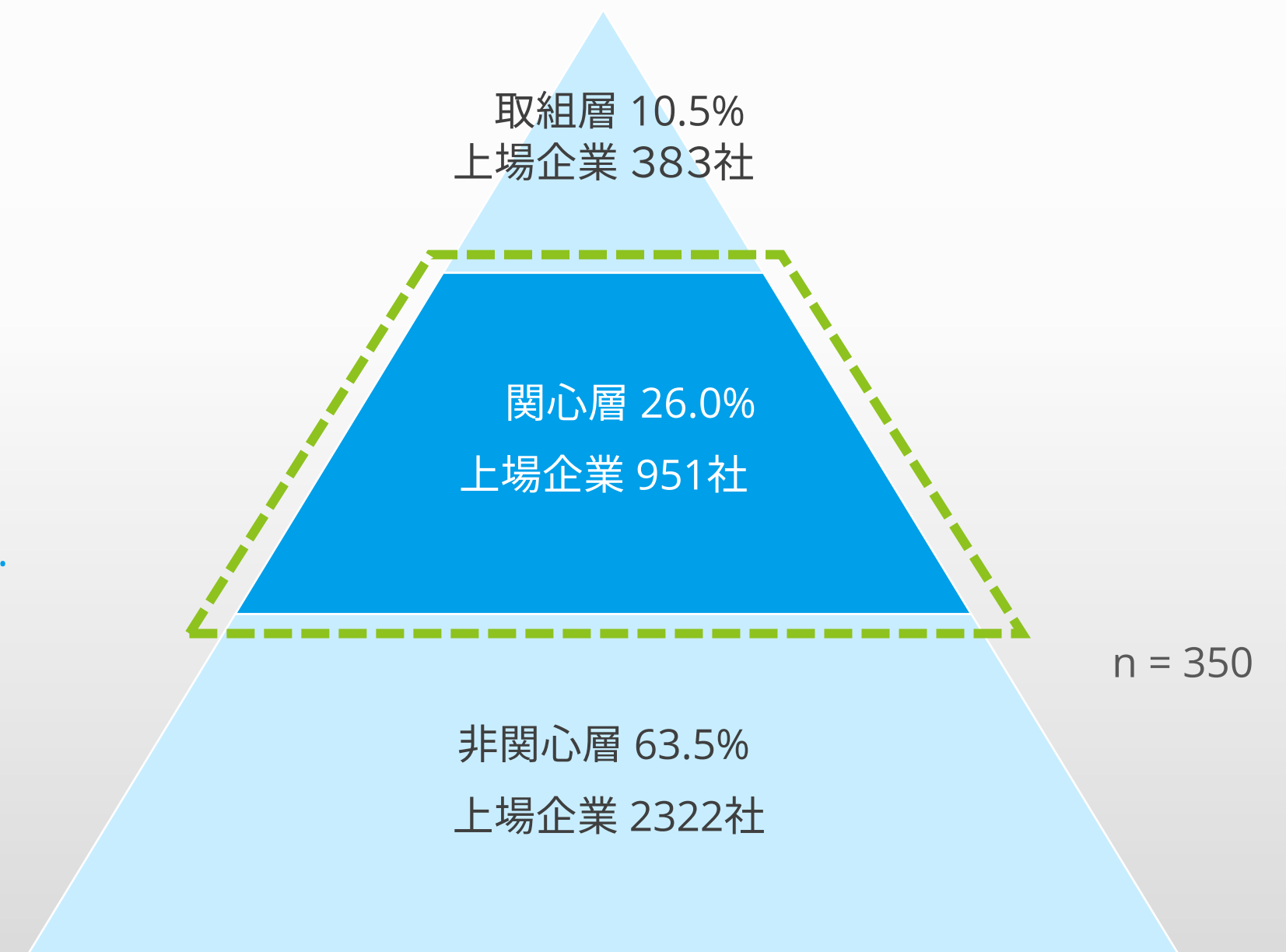
「非関心層」へはAIトレーニング事業にてアプローチ

「関心層」への移行を図る

上場企業3,656社 推計(2019/3/12時点)

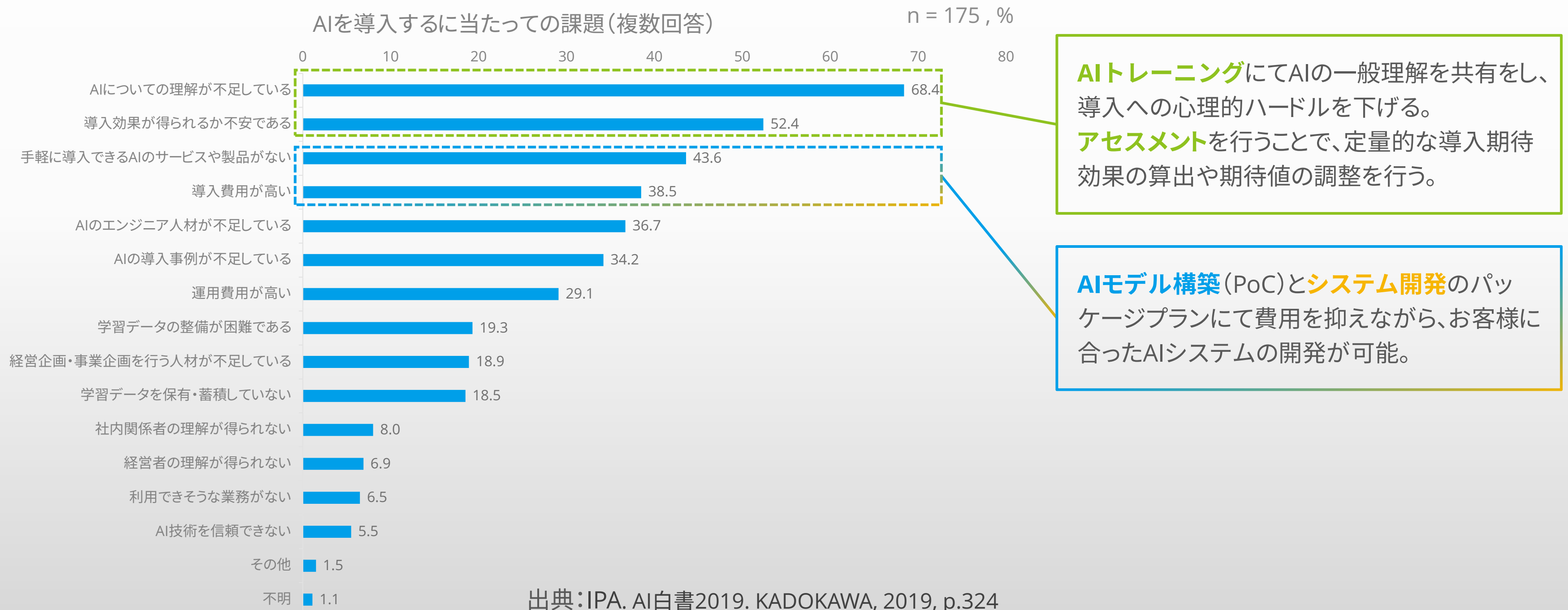


上場企業に
適用すると...



出典:IPA. AI白書2019. KADOKAWA, 2019, p.453

上位の課題に対して、効果的なアプローチが可能



出典: IPA. AI白書2019. KADOKAWA, 2019, p.324

■ AIを導入するに当たっての課題(複数回答)

期間コストを明確にし、案件最適な技術を選択することで高い導入成功率を実現

項目	Pros Cons	AIベンチャー	大手IT会社	Sler
期間	◎ 3~5ヶ月でデモ利用可	△ ~ ○ 作り込みに時間要	○ パッケージ商品適用	× バッファ含め長期
コスト	○ プラン利用で明確化	△ ~ ○ 会社方針次第	△ 高額	× フルスクラッチ開発
AI技術	○ 独自、オープン技術利用	○ 独自、オープン技術利用	△ 独自技術利用の制限あり	× 専門外のケース多数
開発力	○ 高速なAPI開発	× AI開発に注力で手薄	○ パッケージカスタマイズ	◎ 本業のため開発力高
プロジェクト管理	○ 管理シートにて共有	△ ゴール設定が曖昧	○ 確実な導入推進	○ PMによる管理
導入成功率	◎	△ ~ ○ 会社で大きく異なる	△ 用途に合う商品なら○	× AI搭載が難しい

製品・サービス (AIソリューション事業)



AIソリューション事業	1. テストプラン	2. スタンダードプラン	3. オプションプラン	4. 共研究開発プラン
概要	AI導入検討をしたい企業様向けの調査プランです。	本格的にAI導入を検討したい企業様向けの通常プランです。	1.~2.に工数追加をする場合のオプションプランです。	期間を定め、共同研究開発を行うプランです。
料金	要問合せ	要問合せ	要問合せ	要問合せ
パッケージ内容	①アセスメント ②AIモデル構築(PoC)	①アセスメント ②AIモデル構築(PoC) ③デモAPI開発 ④精度調整	要相談	—
AIトレーニング 基本知識 (無料) AI入門コース	● ×	● ●(希望者)	● ×	● ×
アセスメント 基本調査(無料)	2週間	2週間	—	—
AIモデル構築 PoC 追加解析	2ヶ月 —	3ヶ月 1ヶ月	要相談 要相談	—
システム開発 web API	×	●	—	—
デモAPI使用料	要問合せ(API開発費用) 要問合せ (使用料)	要問合せ(使用料)	—	—

案件ごとの必要工数を試算し、お客様に合ったPLANをご提案

ケース 1

本当にAIの活用ができるか、きちんと調査をしたい!

AIモデル構築に**3ヶ月**の場合...

テストプラン



オプションプラン
(1ヶ月)

AIトレーニング
AIモデル構築(3ヶ月)

ケース 2

素早くAIモデルを構築し、とにかく手元で試してみたい!

AIモデル構築に**2ヶ月**の場合...

テストプラン



API開発

AIトレーニング
AIモデル構築(2ヶ月)
API開発

ケース 3

しっかりAIモデルを構築し、実用化を見据えながら
ブラッシュアップも行いたい!

AIモデル構築に**4ヶ月**の場合...

スタンダードプラン

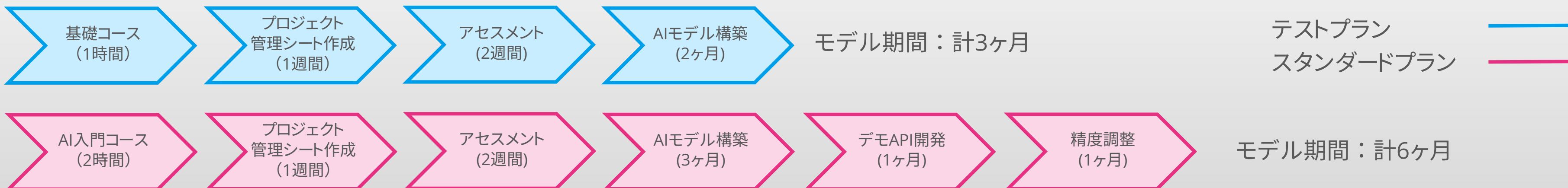


オプションプラン
(1ヶ月)

AIトレーニング
AIモデル構築(4ヶ月)
API開発
追加解析(1ヶ月)

AIの導入検討から運用までを一気通貫で実現 プロジェクト開始からデモAPI利用まで最短4ヶ月

正式工数見積&契約



AIトレーニング事業	1.基礎コース	2.入門コース	3.ビジネスプランナーコース	4.エンジニア導入コース
概要	よくある疑問、プロジェクトの進め方等の基礎知識を学ぶコースです。	AIとは何か、何がすごいのか、どのように使えるか、豊富な実例を基に学ぶコースです。	AIを活用した事業やプロジェクトを行うために必要な知識を付けるコースです。	自社システムに導入することを念頭に、機械学習技術を習得するコースです。
料金	無料	要問合せ	要問合せ	要問合せ
期間	1時間	2時間	4時間	5日間(4時間/日)
対象者	当社と取引を希望する担当者	基礎知識をつけたい方 社員教育に利用したい方	経営者、企画部門 AI導入推進担当者	AI導入検討中のシステム部門 研究開発部門の担当者
定員	若干名	20名	20名	5名
コース内容	<ol style="list-style-type: none"> よくある疑問と回答 出来ること、出来ないこと 当社技術の紹介 失敗事例と対策 プロジェクトの流れ 	<ol style="list-style-type: none"> AIとは何か ～定義、歴史～ これまでのITとの違い 得意なこと、不得意なこと 業界別活用事例 	<ol style="list-style-type: none"> AIとは何か ～定義、歴史 基本原理と応用タスク タスク別活用事例 AIシステム開発/導入の一般的な流れ よくある失敗事例と対策 契約のポイント 	<ol style="list-style-type: none"> 基本演習と理論 数値データの回帰 画像データの分類 時系列データの回帰/分 データの扱いの注意点

AIコンサルティング事業	AIコンサルティングサービス
概要	直面する実際の課題に対し、AIの適用検討やプロジェクトの共同推進、継続的なアドバイザーなどのコンサルティングサービスを提供します。
料金	要相談
期間	要相談
対象者	AI導入を検討する方、調査検討をサポートして欲しい方
提供体制	要相談
相談内容例	<ol style="list-style-type: none">1. どの業務にどのようにAIが適用できるのか検討をしたい2. AIの活用シナリオを作成したい3. 業務のAI適用に継続的にアドバイザーとして参加して欲しい4. AI技術の最新動向を知りたい5. AIビジネスの最新動向を知りたい6. 導入プロジェクト推進の相談をしたい ...等



使えるAIを皆様のもとへ